

## 第11回全国書写書道伝統文化大会 総合の部

主催 一般社団法人日本書字文化協会  
共催 公益財団法人文字・活字文化推進機構  
後援 文部科学省他

### 【伝統文化名誉大賞】

東京都・青梅市立第二中学校 2年  
関口 美夢

### 葛 藤

私は恵まれています。世界で紛争や災害が起きている中、寝て起きれば朝が来て、食事をし学校へ通う。部活や習い事もでき、落ち着いて文字を書く時間ももてます。

書道の大会前は公共施設で練習します。机とイスを寄せ、床を除菌、シートを敷いてその上も除菌。周りに新聞紙を敷き、部屋一周除菌。時間がかかるので、それをお手伝いすることも好きです。

だけど今回は特に部活との調整で迷いました。バレーボール部の部長をしています。その部長が練習等を休むこと。コロナ禍で活動できず、2年になって練習や試合をできるようになり楽しくなっていること。年明け最初の練習日に顧問と友達が必勝祈願に行くこと。顧問が年始めで産休に入るので一緒にできるのはあと数日。今は部活の方が大切なのかな、みんなで一緒にやりたいと思っていました。

悩んで相談した書道の先生や家族からは、自分の取り組んできたものも大切にしようアドバイスしてもらいました。そして顧問からも応援されたことで、気持ちに伝えたいとも思い、今回も書道を頑張りました。

「部活に行きたい、行きたいと言っていたけど、みんなは祈願に行くんだよ。とふとした会話の中で話していて、そこに自分は入っていなかったよね。」と書道の先生に言われ、自分の中では答えを持っていたんだと思いました。

この度は名誉大賞という憧れていた賞を頂きありがとうございます。恵まれた環境を大切にこれからも自分の道を頑張ります。